

# あけましておめでとうございます

**平** 成25年の輝かしい新春を健やかに迎えられることを、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、4月には、勇舞中学校を開校し、市内で2か所目の地域包括支援センターとなる東区地域包括支援センターを祝梅ほっとす内に開設しました。また、真々地保育所の民営化移行に伴い、あずさつくし保育園が開園しています。11月には、市内12館目のコミュニティセンターとなる花園コミュニティセンターを開所するなど、教育環境の充実とともに、市民の皆さまの生活利便性の確保やサービスマシンの充実を図ったところであります。

また、新千歳空港につきましては、3月以降、国内線に格安航空会社（LCC）が相次ぎ就航し、10月には、国際線にタイ・バンコク線、ハワイ・ホノルル線が開設されるなど、北海道と各地を結ぶ路線の充実により、年末には、国際線の乗降客数が初めて100万人を突破するという明るい話題もあり、今後の北海道経済への波及効果や地域の活性化につながるものと期待をしています。

一方、全国的な夏の電力事情に対応するため、道内におきましても数値目標を伴う節電への要請があり、市民生活や企業活動等への影響が懸念されま

したが、市民及び企業の皆さまのご努力により、心配された計画停電は回避することができました。しかし、冬期間に電力需要が大きくなる道内にとりましては、今冬の政府の電力需給対策において引き続き節電の要請がありますことから、市としては、3月29日までの期間、一昨年同期を基準に7パーセント以上削減の目標を掲げ、節電に取り組んでおりますので、市民の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

国内においては、衆議院議員総選挙により政権交代がなされ新内閣が発足しましたことから、国の動向について情報の収集・把握を進めるとともに、引き続き、「都市力」と「市民力」を生かした各種施策を展開し、市民生活の安定と地域の発展に努めてまいります。

本年は、北海道千歳高等支援学校が開校するほか、スポーツセンターのリニューアル工事の実施など、千歳市第6期総合計画を着実に推進することにより、本市の目指すべき将来都市像であります「みんなで生き生き 活力創造都市 ちとせ」の実現を図ってまいります。

今年一年が、活力にあふれ、市民の皆さまの笑顔が輝く、希望に満ちた年となりますよう心からお祈り申しあげ、新年のごあいさつとさせていただきます。



千歳市長 山口 幸太郎

まちの発展をさらなる高みまで<sup>かけ</sup>「翔る」年とするため、今年の「一年一字」は「翔」としました。